



渡嘉敷小中だより

自ら学び、心豊かに、たくましく、

自立(15の春の旅立ち)する児童生徒の育成

第9号

令和8年7月9日(木)

渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校

校長 西原琢哉

令和8年度 一人1公開授業

教師一人一人の授業力の向上を目指し、研究主題を設定し全職員で授業研究を行うために一人1公開授業を実施します。今年度のテーマは、「主体的・対話的で深い学び」-各教科等における小中のつながりを意識した授業改善を通して-となっています。令和8年6月4日(木)3校時1年生数学「大城盛浩教諭」から公開授業を開始しました。生徒一人一人にあったアドバイスを送りながら、生徒が自分で考えたこと(think)を級友に伝えあい(pair)学級全体で考える(share)を実践しながら授業を展開しました。小学部で習った既習事項を確認しながら、中学1年で学習した発展的な学びを生かしながら、生徒が発表するなど校内研修のテーマに沿った内容となりました。授業反省会では、沖縄県教育庁義務教育課から派遣させている交流の家専門職員(教頭職)からも指導助言をいただきました。



令和8年度 離島校訪問・代表公開授業

令和8年7月7日(火)4校時より島尻教育事務所(高木眞治 所長・前花和秀指導班長・久保田力也指導主事・高宮城実康人事主査)による離島校訪問が行われました。

これは、授業参観・授業研究会を通して、目指す資質・能力の育成に向けた学校の「授業改善」「学校改善」等が趣旨となっています。2学年「道徳」を屋嘉比真弓教諭、3年生「道徳」を永山隆介教諭が担当し公開授業を実施しました。

授業後には、それぞれの教室で授業反省会が行われ前花和秀指導班長・久保田力也指導主事からの指導助言の中で、「先生方の熱心な取り組みと素晴らしい指導案に基づいた、完成度の高い授業を参観させていただき大変勉強になりました」とコメントを貰いました。これからも、指導助言を励みに、教材研究を行い、児童生徒の確かな成長につなげていきたいと思ひます。



|
